



いまばり

Vol. 75

令和5年(2023年)11月1日号

# 市議会だより



令和5年度 一般会計補正予算  
9億6,579万9千円 原案可決

## Contents

代表質問・一般質問……………	2	中学生議会……………	9
一般質問……………	3	特別委員会視察報告……………	10
質疑・委員会審査……………	5	決算特別委員会の設置……………	11
委員会審査・議員研修会……………	6	議会日誌・人事案件……………	12
議案の審議結果……………	7		

今治市議会HP  
はこちら



中学生議会開催

# 9月定例会のあらまし



今治市議会  
(会議録の閲覧と検索)

閲覧期間  
令和5年12月上旬以降



YouTube  
(今治市議会)

閲覧期間  
令和5年11月30日まで

今定例会は、1日から21日までの1日間の会期で開催されました。1日の本会議では、3つの特別委員会の委員長が行政視察の報告を行いました。続いて弔詞の贈呈について発議され、可決されました。次に、令和5年度の補正予算案11件、条例案2件、その他の議案が11件、報告案件が2件、合わせて16件が提案されました。5日は、代表質問と提案された議案への質疑を行い、6日、7日の2日間、7人の議員が市政への一般質問を行い、理事者からの答弁を得ました。また、7日には委員会審査のため、提案された議案を所管の委員会に付託しました。21日の本会議では、審査を行った各委員会の委員長報告の後、議案について採決を行いました。次に、理事者とおり可決しました。次に、理事者から令和4年度一般会計特別会計歳入歳出決算の認定など2件の追加提案があり、決算特別委員会を設置し、決算認定議案7件を継続審査としました。続いて、理事者から人権擁護委員候補者の推薦についての追加提案があり、全会一致で同意しました。この後、教育厚生委員会から陳情第11号に係る意見書提出の発議を行い、原案のとおり可決して、今定例会を閉会しました。

## 代表質問



新生会  
(堀田順人)

### 瀬戸内しまなみ海道の通行料実質無料化について

**Q** しまなみ海道通行料無料化に向けた市長マニフェストの進捗・経過状況について

**A** 市長就任後、直ちに島民の方がどれくらいの頻度で、どこからどこまでしまなみ海道を利用されているかといった実態把握を進め、愛媛県や本四高速、国土交通省等に対し、私が直接出向き、何度も説明・要望を重ね、理解をいたただけるよう努めてまいりました。

今回の利用実態調査を基に試算したところ、仮に、島しょ部の皆さんが利用する通行料金を完

全に無料化するためには、毎年10億円以上もの莫大な費用が必要となります。そのすべてを今治市で負担することは非常に困難であり、今治市が単独でも出来ることから一歩一歩着実に、自分たち何ができるのかを、様々な角度から考え続けたいと思います。

実質無料化は制度の根幹に関わる問題と、いかに負担軽減をして、いつまでもしまなみの島しょ部に暮らし続けていただくための負担軽減策を合わせて考えていく必要があると思います。

今後、島しょ部でも陸地部でも、同じような負担で生活ができるよう、「実質無料化に向けて全力を尽くす」という公約実現に向けて、諦めることなく精一杯取り組んでまいります。

また、しまなみ海道の令和6年度以降の通行料金を、最低でも現在の料金水準で維持していただけるよう、関係機関に対し働きかけてまいります。

## 一般質問



渡部 豊  
(公明党)

### 救急体制について

**Q** けが人や急病人などが発生したとき、その場に居合わせた人、いわゆるバイスタンダーが応急手当を行うことが大切であります。応急手当があつた場合は、なかつた場合に比べ病院収容前の心拍再開率は約2倍になり、また1カ月生存率は約3倍になるとのデータがあります。しかし、いざそうした現場に直面した場合には、なかなか実践するにはハードルがあるように思います。そこで、救急現場に直面したときの不安も解消でき、的確な救急活動ができる映像通報システム「Live119」の導入について伺う。

**A** このシステムは、スマートフォンからの119番通報者に動画の送信を依頼し、救急隊や消防隊が到着する前に現場の映像を通信指令室で受信・確認できるシステムです。ビデオ通話により通信指令員から通信者への口頭指導・心肺蘇生法や止血法などの動画を送信することも可能であり、救命措置や災害対応の向上が期待できると認識しております。119番通報時の活用を「本年11月1日から」試験的に開始し、約1年間かけて課題・問題点を抽出し、本運用に向けた準備をしていきたいと考えております。

### ほかの質問

- ・視覚障がい者のための音声コードの普及について
- ・70歳未満の高額療養費支給申請手続きの簡素化について
- ・小中学校等の指定避難所のフリーWi-Fiの導入状況について



内山 葉子 (政常会)

観光促進事業について

Q

本市は世界トップの観光地と肩を並べられるポテンシャルを持っている。港湾整備をし、クルーズ船を受け入れ、海から鈍川温泉もある渓谷、山への流動線を作り、多くの方に本市での新たな寄港地観光を押し進める事が大事かと思う。海事都市今治のシンボルとして、廃船を設置し、中をカフェやレストラン、お土産売り場、宿泊施設、温泉等を併設した歴史文化観光船として蘇らすのはいかがか。観光都市今治として、世界トップになるような潤いある本市になれば、しまなみ海道の無料化も遠

い夢ではないはず。改革なくして成長なし、だと思ふ。マクコの視点で考えて頂きたい、と要望する。

A

本市の多彩な観光資源との相乗的な効果・地域経済への波及という観点から、優先度の高い事業の一つであり、観光需要は大幅に増加することが見込まれるため、クルーズ船の受入体制を再構築する必要があると考えている。今後、既存施設を最大限活用しながら、観光周遊ルートや観光コンテンツの磨き上げを図り、受入体制の充実や誘致活動の強化を進め、クルーズ船受入による効果を今治経済の好循環へと繋げてまいりたい。

ほかの質問

- ・今治市の平和行政について
・移住・定住促進政策について



上村 悦男 (清風会)

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

Q

本年度の調査結果の概要は、どのようになっているか。

A

小学校において、本市と県平均の正答率を比べると、国語では3ポイント、算数では2ポイント下回った。中学校では、県と比べると、数学は2ポイント、英語は1ポイント上回り、国語は同じ結果となった。

児童・生徒質問紙調査では、家庭学習に課題が見られるため、今後一層家庭との連携による学習習慣の確立に努める必要があると考えている。教師と児童生徒との信頼関係や、育まれた自尊心や自己肯定感を生かしながら、児童生徒が目標

をもって主体的に学習に取り組む態度を育んでいきたい。
今後、教育委員会として、どのように学力向上に取り組んでいくのか。

A

教育委員会としては、若年教員の授業力向上並びに、学校全体の組織力の強化に努めていく必要があると考えている。

そこで、まずは全小中学校のうち希望のあった13校に、2学期から指導主事や愛媛大学教育学部教授を派遣し、指導助言を行っていく。さらに、経験と実績を有するOBを学校経営アドバイザーとして小学校に派遣することとし、学力向上対策等に向けた取組について指導助言を行い、教員の授業力の向上を図るとともに、管理職のマネジメント力も強化していく。
今後、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、学校の組織力を高め、教師と児童生徒との信頼関係を構築しながら、児童生徒のより良い学びにつながるよう、支援していききたい。



松田 澄子 (日本共産党)

マイナンバーカードについて

Q

マイナンバーカードの取得等の状況について、取得、自主返納された方の人数を示し、通帳、健康保険証との紐づけの誤登録が今治市でなかったのか伺う。

A

マイナンバーカードの取得状況は、7月末現在12万4千77件で交付率は82.1%となり、15万人以上の自治体で第4位である。自主返納件数は、8月末まで23件。総点検の結果、今治市での誤登録は問題がないと回答があった。

保育における環境について

Q

保育士の配置基準の改善と処遇改善について「こども家庭庁」

でも議論されており、市での見直しが必要と思うが、お考えを伺う。

A

今治市の配置基準は国の基準と同様だが「こども未来戦略方針」が6月13日に閣議決定された。処遇改善については、令和4年2月から9月に「保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業」を活用し、月9千円程引き上げた。今後も、国の動向や他の自治体の動向を注視していきたい。

Q

公立保育施設の維持について今後の統廃合等がないか伺う。

A

「再編成への取組方針」は、少子化社会を見据え、10年間の取組方針を定めたが7年を経過しており、民間の力を最大限お借りしながら、こどもが真ん中の保育環境の充実を図る。

ほかの質問

- ・自衛隊への名簿提出について
・ギガスクール構想におけるタブレット使用について



谷口 芳史 (公明党)

今治市ふれあい収集について

Q ゴミ出しに大変な思いをしている高齢者の方などに、家に訪問してごみ収集をおこなう支援事業ですが、当初は一部地域で開始し、8月21日からは市内全域へ拡大されました。現在の収集対象者数と今後の申し込み状況などについてお聞かせください。また該当する人は対象となる方以外、支援が必要と認められる方となっていない方が支援が必要と認められる方についてのお考えをお聞かせください。

A 8月末時点、市内全域で合計13件の利用で、一本当に助かり



永井 隆文 (公明党)

地球温暖化対策について

Q 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に対する本市の認識について

A 今治市においても、持続可能な「住み良いまち今治」であり続けるためには、国、愛媛県や近隣自治体とも連携しながら、市民・地域・企業が一丸となってカーボンニュートラル達成を目指す必要がある。

A 市民や地域企業の皆さんに2050年カーボンニュートラルの実現やGXへのチャレ



黒川 美樹 (優風会)

避難所におけるペット受入れについて

Q 地域に根差した避難所運営を検討すべきと考えるが、今後の災害時における実践的なペット受入れ体制に向けた検討は。

A 全ての指定一般避難所においてペットの受入れが可能となっており同行避難を行う場合は、基本的にペットは屋外に繋いでおくことで避難者と居住空間を分けることとしている。飼

く。機会を通じてペット防災の普及啓発を推進していく。

今後の学校給食の在り方について

Q 学校給食は子供達の心身の成長を助けるもの一つとして重要な位置づけである。給食センター・調理場の多くは昭和50年代〜平成初期に建築されているが大規模改修の検討対象としていない。生徒数減少、環境改善、物価高騰による給食費値上げ、調理員の人員不足も懸念される中、今後給食施設をどうするか多方面での整理が必要では。整備計画の策定の検討は。

A 令和6年度に策定予定の第二次学校適正配置基本方針に沿った「調理場再編計画」を作成する際には、調理員の皆さんの意見も取り入れながら働きやすい職場環境の確保、多様な調理設備の充実、施設の運営方法など様々な課題を整理し、これまで以上に安心安全でよりよい学校給食を将来にわたって安定的に提供できる体制づくりを検討していく。

ほかの質問

・子ども・若者総合相談支援センターについて

## 質疑

9月5日の本会議において、理事者から提案された議案に対する質疑が次の事項について行われました。

発言者



松田 澄子  
(日本共産党)

○議案第67号「令和5年度今治市一般会計補正予算(第3号)」について

1 歳出3款2項1目子育て支援事業費について  
(1)子育て応援クーポン事業について

2 歳出3款2項3目保育所管理運営費及び認定こども園管理運営費について

(1)3歳以上児への主食提

発言者



加藤 明  
(新生会)

○議案第67号「令和5年度今治市一般会計補正予算(第3号)」について

1 歳出2款1項11目燃料高騰支援事業費について  
(1)燃料高騰支援クーポン事業について

供事業について

3 歳出10款2項1目施設整備費及び歳出10款3項1目施設整備費について

(1)小中学校のバリアフリー化について  
(2)小中学校の照明器具LED化について

## 委員会審査

### 総務委員会

今治市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするもの。

### 建設水道委員会

内港大通線(万橋)改修工事請負契約の締結について

内港大通線(万橋)改修工事の施行のため請負契約を締結しようとするもの。

### 地域振興特別委員会

今治市公民館条例等の一部を改正する条例制定について

伯方支所跡地活用事業の実施に伴い、今治市伯方公民館、今治市営伯方木浦体育館及び今治市営伯方木浦グラウンドを廃止しようとするもの。

### 予算特別委員会

合併20周年記念事業費 3100万円

合併20周年に向けた記念事業の準備や各地区の魅力を引き起こし、魅力ある「ふるさと今治」を市内外へ発信しようとするもの。

新しい「ひめボス宣言事業所」認証取得等促進事業 460万円

しまなみ総合庁舎建設工事の内建築工事 一式

伯方支所跡地活用事業公民館・体育館等整備に係る工事請負契約の締結について

伯方支所跡地活用事業公民館・体育館等整備に係る工事 一式

財産の処分について(伯方支所跡地)

伯方支所跡地を伯方島まちづくり株式会社売却するもの。

### 燃料高騰支援事業費

4億3410万円

燃料高騰に直面する家計への負担軽減を図るため、市内全世帯に対し燃料クーポン券を配付するもの。

子育て応援せとうちみなとマルシエクーポン事業 8340万円

物価高騰の影響を特に受けている子育て世帯に対し、せとうちみなとマルシエで使えるクーポンを発行し、家計への負担軽減を図るとともに今治港周辺のにぎわい創出を図ろうとするもの。

女性活躍推進、仕事と家庭の両立支援に取り

**子育て応援ヘルパー派遣  
実証事業**

1070万円

妊婦及び出産後1年以内の子どもを持つ家庭に対し、実証的に無料でヘルパーを派遣することに より、妊婦及び乳児が いる家庭の家事育児負担の軽減を図ろうとするもの。

**ヤングケアラー支援ヘルパー派遣事業**

100万円

ヤングケアラー支援の対象と認められた児童のいる家庭に対し、ヘルパーを派遣し必要な支援を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を図ろうとするもの。

**3歳以上児への主食提供事業**

1000万円

公立保育所及び認定こども園において主食の提供を開始することにより、保護者の負担を軽減し、子育て環境の充実を図ろうとするもの。

**多子世帯リフォーム等支援事業**

2550万円

第2子以降を出産した世帯のリフォーム又は引越に要する経費の一部を助成することで、多子世帯が子育てしやすい住環境づくりを支援するもの。

**新型コロナウイルス発熱外来開設補助金**

340万円

感染拡大時における夜間及び休日の救急病院の医療ひっ迫を防ぐため、発熱外来の開設を支援し、安全安心な医療体制を確保するもの。

**拡大新生児スクリーニング検査事業**

400万円

拡大新生児スクリーニング検査に係る検査費用を全額負担し、疾患の早期発見・早期治療を促すことにより、症状の改善や重症化を防ぎ、新生児の健康増進を図ろうとするもの。

**省エネ家電普及促進事業**

2000万円

省エネ性能の高いエアコンへの買い替えを促進することで、電力価格高騰による家庭への負担を軽減するとともに脱炭素化を推進するもの。

**純川温泉ゆげノベーション推進事業費**

1000万円

令和4年度に策定された「純川温泉を中心とした玉川地区ブランドデザイン」を基に、純川温泉地区の観光客回復と魅力ある持続可能な観光地づくりを促進するもの。

**水防活動費**

4100万円

令和5年6月2日、6月30日～7月1日の大雨に係る水防活動費。

**清水小学校校舎改修工事**

4700万円

校舎の老朽化に伴う長寿命化等の大規模改修を行うもの。

**小中学校のバリアフリー化**

7570万円

小学校9校、中学校3校のバリアフリー化の整備を行うもの。

**給食費の負担軽減による子育て支援**

1850万円

食材費等の高騰が続く中、保護者負担を増やすことなく安全安心でおいしい給食の提供を維持するもの。



**小中学校の照明器具LED化**

4060万円

小学校1校、中学校3校の校舎棟及び屋内運動場の照明器具をLED化するもの。

**災害復旧事業費**

4530万円

令和5年6月30日～7月1日の大雨に係る災害復旧事業費。

**議員研修会**

令和5年9月1日、議員協議会室において議員研修会を開催し、9月から今治市議会に導入されたタブレット端末の利用方法などについて研修を行いました。

「市議会だより」のアプリ配信

無料アプリ「マチイロ」を利用してスマートフォンなどで閲覧できるようになりました。  
\*アプリは無料で利用できますが、所定の通信料がかかります。



研修の様子

事件番号	件 名	結 果
		9月1日議決
発議 4	弔詞の贈呈について	原案可決（賛成多数）
		9月21日議決
議案 67	令和5年度 今治市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全会一致）
議案 68	今治市公民館条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 69	今治市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
議案 70	しまなみ総合庁舎建設工事の内建築工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）
議案 71	伯方支所跡地活用事業公民館・体育館等整備に係る工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）
議案 72	内港大通線（万橋）改修工事請負契約の締結について	原案可決（全会一致）
議案 73	財産の処分について（伯方支所跡地）	原案可決（全会一致）
議案 74	今治市辺地総合整備計画の変更について	原案可決（全会一致）
報告 9	専決処分について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・ 損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・ 今治市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・ 損害賠償額の決定及び和解について</li> <li>・ 今治市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・ 今治市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について</li> </ul>	受 理
報告 10	公営企業資金不足比率について	受 理
発議 5	特別委員会の設置について	原案可決（全会一致）
	決算特別委員会委員の選任	選 任
議案 75	令和4年度 今治市水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 76	令和4年度 今治市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査
議案 77	令和4年度 今治市簡易水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 78	令和4年度 今治市工業用水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 79	令和4年度 今治市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	継 続 審 査

事件番号	件 名	結 果
議案 80	令和4年度 今治市公共下水道事業決算の認定について	継 続 審 査
議案 81	令和4年度 今治市一般会計特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
報告 11	健全化判断比率等について	受 理
議案 82	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意 (全会一致)
発議 6	保育士配置基準の改善及び保育士の処遇改善を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

**令和5年9月定例会 陳情の審議結果**

【前議会から継続しているもの】

番 号	件 名	結 果
陳情第10号 (R5.6.9受理)	加齢性難聴者への補助器具購入に対する公的補助制度創設を求める陳情について	継 続 審 査

【今議会に提出されたもの】

番 号	件 名	結 果
陳情第11号 (R5.9.1受理)	保育士配置基準の改善及び保育士の処遇改善を求める意見書提出に関する陳情について	採 択 (全会一致)
陳情第12号 (R5.9.1受理)	子ども向けイベントに自衛隊ブースの設置をしないことを求める陳情について	不採 択 (賛成少数)

**議案等に対する賛否状況 令和5年第4回定例会**

賛否の分かれた案件の賛否状況を記載しています。

議員名 番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	26	27	28	29	30
	内山 葉子	上村 悦男	丹下 大輔	黒川 美樹	壺内 和彦	森本 真博	永井 隆文	松田 澄子	達川 雄一	羽藤 謙一	山岡 健一	野間 有造	藤原 秀博	越智 忍	木村 文広	渡部 豊	谷口 芳史	近藤 博	矢野 嗣	森 京典	越智 豊	中村 卓三	平田 秀夫	加藤 明	寺井 政博	松田 敏彦	堀田 順人
発議 4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 12	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ ○：賛成 ×：反対

※ 木村文広議員は、議長職のため表決に加わっておりません。

…… 本会議のインターネット中継について ……

今治市議会では、開かれた議会を目指して、本会議のインターネット中継を行っています。パソコン、スマートフォンなどにより、ライブ中継、録画放送をご覧ください。なお、録画放送はライブ中継配信の日付の翌々月末に削除されますので、ご注意ください。

同時に多くの方がインターネット中継を視聴された場合、映像がうまく映らないことがあります。また、本会議の様子は、インターネット配信のほか、今治CATV(株)のコミュニティチャンネル(11CH)でもライブ中継されています。

**本会議のインターネット中継の視聴方法**

今治市議会ホームページの「市議会インターネット中継」をクリックする。



ここをクリック

# 中学生議会を開催！

令和5年8月4日に今治市議会では、今治市の将来を担う中学生たちに、市議会のしくみや働きを直接体験することにより、地方自治の役割や重要性を認識し、若い世代が政治へ参加していくための意識の底上げを図るとともに、中学生の視点からの意見を今後の市政運営の参考とすることを目的に「今治市中学生議会」を開催しました。今年は8校23名の中学生議員が参加し、中学生議員が議長や質問者となって、若者らしく、元気いっぱいに、理事者に対して質問しました。中学生議会の会議記録は今治市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。



# 特別委員会視察報告

7月10日から15日にかけて、特別委員会では行政視察を実施しました。その内容を皆さまにご報告いたします。

## ■広報広聴特別委員会（7/10から7/12）

### 千葉県船橋市

船橋市は、「ふなばし市議会だより」が令和4年に中核市議会議長会「第17回議会報コンクール」において「優秀賞」を受賞されております。

平成25年4月に「ふなばし市議会だより」をタブロイド版からA4版にリニューアルし、適宜、用語解説や写真を入れるなど、市民にとって分かりやすく掲載されており、障がい者就労支援施設や高齢者団体にも配布の協力をいただきながら、船橋市内の全世帯へポスティングを行うほか、公共施設や駅スタンド、コンビニや公衆浴場等にも配布し、市議会の活動の周知に努めておりました。

また、「点字版市議会だより」、「音声版市議会だより」を発行されており、視覚等に障がいがある方への周知にも努めておりました。

### 群馬県沼田市

沼田市は、平成14年から、市・教育委員会・市議会の共催により「子ども議会」を開催しており、市内の小学校11校、中学校9校、高校5校、計25校の代表者25名が「子ども議員」となって、子ども達自身が市政について考え、意見や提案を行うことによって、子ども達の主権者教育の推進につながるとともに、市政・議会に関心を持つことや、子ども達が抱えている「ふるさと沼田」への「想い」を知ることができる事業となっております。



群馬県沼田市での視察の様子（7/11）

## ■地域振興特別委員会（7/12から7/13）

### 熊本県宇土市

宇土市ではコミュニティバス、ミニバスについて、市役所企画課の担当者より説明を受けました。

地域公共交通の根幹である生活バスについては、近年、路線の廃止が進み、移動手段を持たない方々の移動手段の確保が急務となっております。

宇土市では、平成20年度に地域公共交通会議を立ち上げ、コミュニティバス、ミニバスの運行を中心に、高齢者等の移動手段を持たない方の通院や買い物支援の確保など地域の需要に応じた公共交通政策について取り組んできました。

運行開始後も乗車率の向上及び利用者の意見の反映のため、ルート簡素化、運行区域の拡大、時間帯の変更、乗継券、回数券、自動車免許返納者割引制度、ICカード乗車券導入、商業施設へルート延伸等、試行錯誤を重ねています。その結果、コミュニティバスの直近3年間の利用者数は右肩上がり増加しています。利用者数の増加に伴い、台数を増やして運行したいが運転手の確保が難しいとのことでした。

また、令和3年度にバス会社、婦人会、老人クラブ等が構成団体となり、地域公共交通活性化協議会を設立し、宇土市地域公共交通計画を策定することで、利用実態を把握し、持続可能な地域公共交通を構築することに努めております。



熊本県宇土市での視察の様子（7/12）

## ■スポーツ振興特別委員会 (7/13から7/15)

### 佐賀県武雄市

令和4年3月に設立・始動された武雄市のスポーツコミッション事業について、事業の取組や、事業効果と課題、今後の方向性について説明を受けました。住民の健康増進や生活の質、心の豊かさを実現するための施策や、市民が盛り上がるための方策として今後考えていることについては、昨年度から行っている認知度を上げるためのアウトター政策に加え、今年度はインナー政策として、まずは、スポーツを見る機会を創出し、市民が興味を持って参加できる市民を交えてのスポーツコミッション事業を進めていきたいとのことでした。



佐賀県武雄市での視察の様子 (7/13)

### 長崎県長崎市

プロスポーツチームとの連携したスポーツ振興についてを視察項目とし、特に長崎スタジアムシティプロジェクトとの連携体制について説明を受けました。この事業に対する市の支援、また連携を進めるため、長崎サッカースタジアム検討推進チームを設置し、検討推進会議をこれまでに9回開催しており、環境整備等ハード事業の支援、さらにソフト事業としての長崎スタジアムシティ開業気運醸成事業という盛り上げ空間の創出や、参加型のイベントの展開、プロジェクトの浸透を図る支援を行っているとのことでした。スポーツ振興に係る事業者との連携としては長崎県及び21市町担当者とV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカとの連携強化を図る自治体連携会議を年度内で2回実施しており、県内全域でのプロスポーツクラブを支援する体制の強化につなげているとのことでした。

委員	副委員長	委員長										
堀田	松田	寺井	矢野	渡部	山岡	羽藤	永井	森本	壺内	黒川	野間	中村
順人	敏彦	政博	雄嗣	豊	健一	謙司	隆文	真博	和彦	美樹	有造	卓三

9月定例会に提出された令和4年度の水道事業、簡易水道事業、工業用水道事業・公共下水道事業及び一般会計・特別各会計の決算に関する議案を審査するため、9月21日の本会議において決算特別委員会が設置され、13人の委員が選任されました。

## 決算特別委員会の設置

## 市議会を傍聴してみませんか — 市政と議員の活動を知るよい機会です —

本会議当日、市役所本館1階東側（市民課うら）の入口から2階に上がり、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴席にお入りください。

定員は80人です。その他詳しいお問い合わせは市議会事務局まで。  
\*傍聴される方は、係員の指示に従ってください。

市議会に対するご意見・ご要望をE-mailまたはFAXでお寄せください。

お寄せいただいたご意見・ご要望は、今後の参考とさせていただきます。

E-mail : gikai@imabari-city.jp

## 市議会ホームページへアクセスしてみませんか



市議会の活動をより詳細にお伝えするため、ホームページを開設しています。ぜひアクセスください。



アドレス <https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai>

議会日誌



令和5年6月

8日	木村議長、山岡副議長四国市議会議長会定期総会出席のため松山市へ出張	4日	宮城県名取市議会議員視察	13日	スポーツ振興特別委員会行政視察のため佐賀県武雄市、長崎県長崎市へ15日まで出張	31日	川島高松市へ出張 東京都北区議会議員視察	15日	木村議長愛媛県戦没者追悼式出席のため松山市へ出張
7日	大坂府茨木市議会議員視察	5日	群馬県太田市議会議員視察	19日	徳島県吉野川市議会議員視察	1日	木村議長弘前ねぶたまつり出席のため青森県弘前市へ2日まで出張	18日	総務委員協議会
12日	木村議長全国温泉所在都市議会議長協議会会計監査、正副会長・監事会議、第102回役員会、第52回総会、全国市議会議長会第99回定期総会出席のため静岡県熱海市、東京都へ14日まで出張	6日	木村議長今治小松自動車道建設促進に関する要望活動のため松山市へ出張	21日	秋田県鹿角市議会議員視察	2日	熊本市天草市議会議員視察	22日	議会運営委員会
10日	広報広聴特別委員会行政視察のため千葉県船橋市、群馬県沼田市へ12日まで出張	7日	長野県千曲市議会議員視察	24日	内現地視察	3日	スポーツ振興特別委員会と今治市スポーツ協会との意見交換会	23日	木村議長東予地区市議会議長会
11日	長野県千曲市議会議員視察	12日	地域振興特別委員会行政視察のため熊本県宇土市へ13日まで出張	25日	東京都議会議員、東京都日野市議会議員視察	4日	木村議長、山岡副議長東予地区市議会議長会定期総会出席のため新居浜市へ出張	18日	先進都市等行政視察のため北海道苫小牧市、北海道羽藤、越智(豊)、中村、加藤、堀田議員子どもアシストセンターについて北海道札幌市へ、小樽港クルーズ推進事業について北海道小樽市へ調査のため25日まで出張
30日	会派代表者会議	26日	宮崎県宮崎市議会議員視察	27日	建設水道委員会	7日	産業環境委員会	9日	高知県中土佐町議会議員視察
7月	山口県下関市議会議員視察	28日	松自動車道建設促進に関する要望活動のため香	28日	木村議長今治小	9日	高知県中土佐町議会議員視察	10日	教育厚生委員会
3日	山口県下関市議会議員視察	29日	愛知県西尾市議会議員視察	10日	神奈川県鎌倉市議	10日	神奈川県鎌倉市議		



9月21日の定例会において、次の方を推薦することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦  
島崎 義弘 (新任)

広報広聴特別委員会

委員長	松田 敏彦
副委員長	松田 澄子
委員	上村 悦男
委員	永井 隆文
委員	野間 有造
委員	越智 豊
委員	中村 卓三
委員	平田 秀夫